



徳島大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

### 北村嘉章准教授



い国民病となっています。

アレルギー性鼻炎は、本来人体に書のない花粉やダニに対してIgEという抗体が作られてしまい、免疫反応が過剰に起こることで発症します。アレルギー性鼻炎の診断には、耳鼻咽喉科で検査を受ける必要があ

は期待できません。治癒または長期の改善が期待できる唯一の根本的治療は、アレルギー免疫療法です。以前は皮下注射で行われていましたが、痛みや全身の副反応があり普及しませんでした。しかし2014年からスギ花粉症、15年からはダニのアレルギー性鼻炎にも、舌下免疫療法が保険適用となり、安全性が高いことから、広く普及してきました。効果には個人差がありますが、鼻や目の症状が全く無くなる人がいます。3～5年の治療継続が必要です。治療終了後も効果の持続が期待できます。長期間の治療となるため、

# アレルギー性鼻炎の新しい治療法

アレルギー性鼻炎は、花粉やダニなどの原因物質が鼻から入ると、くしゃみ、鼻水、鼻づまりを発症する病気です。最も多いのはスギ花粉症で、ほとんどの人が目のかゆみも伴います。スギ花粉症は戦前にはなく、東京オリンピックが開催された1964年に日光で発見されて以来増加の一途をたどり、現在日本人の約4割が発症している、世界に類をみなが、あくまで対症療法であり、根治

ります。まず鼻の中の粘膜の状態や鼻水の検査をして、アレルギーかどうかを調べます。その後、アレルギーの原因物質を皮膚や血液の検査で調べて診断します。

アレルギー性鼻炎の治療には、抗原の除去と回避、薬物療法、アレルギー免疫療法、手術療法があります。薬物療法が最も多く行われています。IgE抗体治療について相談してもよいでしょう。